

令和2年12月

各 位

公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構  
(アジア太平洋フォーラム・淡路会議事務局)

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

アジア太平洋地域の多様な文化が共生する“新たなアジア太平洋のビジョン”の構築と発信をめざす「アジア太平洋フォーラム・淡路会議」(代表理事：井植 敏)は、「アジア太平洋研究賞」(井植記念賞)を設け、アジア太平洋地域に関する優れた人文・社会科学領域の博士論文を顕彰しています。

この度、第 20 回受賞候補論文を募集しますので、ぜひご推薦を賜りますようお願いいたします。

#### 記

- 対象

日本の大学院で学んだ日本人および留学生等で、平成 28 年 3 月以降に当該大学院博士課程を修了し応募時点において学位取得済(平成 28 年 3 月以降に単位取得退学し、その後博士の学位を取得している場合も可)、かつ大学院の指導教員から推薦を受けた者

- 論文

1. アジア太平洋地域における「多文化共生社会」の実現に資する人文・社会科学領域の研究をテーマとする論文であること。
2. 当賞に初めて応募する論文であること。

- 提出期限

令和 3 年 4 月 16 日(金)【必着】

- 受賞者及び賞の内容

受賞者数 2 名程度

賞の内容 本賞：表彰状及び副賞(100 万円)

- その他

応募・ご推薦に際しては募集要領をご覧ください。

〔アジア太平洋フォーラム・淡路会議ホームページにも募集要項を掲載しております。  
また過去の受賞者については、同ホームページの「顕彰事業」をクリックすればご覧いただけます。〕

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2  
人と防災未来センター東館 6F  
公益財団法人 ひょうご震災記念 21 世紀研究機構  
(アジア太平洋フォーラム・淡路会議事務局)

TEL: 078-262-5713 FAX: 078-262-5122

E-mail: gakujutsu@dri.ne.jp

HP: <https://www.hemri21.jp/awaji-conf/>

## 第20回「アジア太平洋研究賞」(井植記念賞)

### — 募 集 要 項 —

アジア太平洋地域の多様な文化が共生する“新たなアジア太平洋のビジョン”の構築と発信をめざす「アジア太平洋フォーラム・淡路会議」(代表理事：井植 敏)は、「アジア太平洋研究賞」(井植記念賞)を設け、アジア太平洋地域に関する優れた人文・社会科学領域の博士論文を顕彰しています。

第20回受賞候補論文を次のとおり募集しますので、奮ってご応募ください。

#### ■ 主 催

アジア太平洋フォーラム・淡路会議

#### ■ 後 援

朝日新聞社(予定)

#### ■ 対 象

日本の大学院で学んだ日本人および留学生等で、平成28年3月以降に当該大学院博士課程を修了し応募時点において学位取得済(平成28年3月以降に単位取得退学し、その後博士の学位を取得している場合も可)、かつ大学院の指導教員から推薦を受けた者。

#### ■ 論 文

1. アジア太平洋地域における「多文化共生社会」の実現に資する人文・社会科学領域の研究をテーマとする論文であること。
2. 当賞に初めて応募する論文であること。

#### ■ 応募期間

令和2年12月10日(木)～令和3年4月16日(金) 必着

#### ■ 応募書類

1および2の①～④のすべてを応募期間内必着で送付のこと。【持参不可】

1. 所定の推薦書(ホームページからダウンロード可)

2. 添付書類(日本語または英語表記に限る)

①～③はA4判紙媒体、④は電子媒体にて提出のこと

①博士論文 1部(製本・未製本いずれも可)

②論文要旨 1部(片面1枚)

③②の要約文 1部(300字以内)

④上記①～③のPDFデータを保存したCD-ROM又はUSBメモリ

上記①～③それぞれを独立した3つのPDFファイルとし、ファイル名には執筆者名を入れて日本語または英語で保存のこと。

(例：①博士論文のPDFファイル「淡路太郎 博士論文.pdf」)

\*博士論文が書籍化されている場合は、書籍1部を合わせて提出すること。なお、提出された書籍は、審査終了後に返却します。

応募書類に不足・不備がある場合は、応募を受け付けないこともあります。  
書籍以外の応募書類は返却しません。

- 論文の選考  
研究賞選考委員会において審査・選考を行います。
  
- 受賞者数および賞の内容
  - (1) 受賞者数 2名程度
  - (2) 賞の内容 本賞：賞状および副賞100万円
  
- 審査・選考結果の発表
  - (1) 受賞者の発表は、令和3年7月頃の予定です。
  - (2) 選考結果については文書で通知します。
  - (3) 受賞論文の要旨を淡路会議年次報告書に掲載します。
  
- 授賞式  
令和3年8月6日（金）（淡路夢舞台国際会議場で開催予定）
  
- 提出先（お問い合わせ先）  
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター東館6F  
公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構内  
「アジア太平洋フォーラム・淡路会議」事務局  
  
TEL：078-262-5713  
FAX：078-262-5122  
E-mail：[gakujutsu@dri.ne.jp](mailto:gakujutsu@dri.ne.jp)  
ホームページ：<https://www.hemri21.jp/awaji-conf/>

## The 20th Asia Pacific Research Prize (Iue Prize)

### —Application Outline—

The Asia Pacific Forum, Awaji Conference Japan, which aims to create and spread a “new Asia Pacific vision” of symbiosis among the diverse cultures of the Asia Pacific region, established the Asia Pacific Research Prize (Iue Prize) to reward outstanding dissertations in the field of humanities or social sciences relating to the Asia Pacific region. Applications for the 20th Asia Pacific Research Prize (Iue Prize) are invited under the following conditions:

- Organizer  
Asia Pacific Forum, Awaji Conference Japan
  
- Support  
The Asahi Shimbun (tentative)
  
- Eligibility  
Japanese, international students and others who have officially enrolled in a post-graduate course at a Japanese graduate school and have been conferred a doctorate from such institution after March 2016. A letter of recommendation is required from the advisor of the graduate school.
  
- Dissertation
  1. The dissertation should detail research in the humanities or social sciences that contributes to the realization of a “multicultural symbiotic society” in the Asia Pacific region.
  2. Dissertations submitted in previous years are not acceptable.
  
- Application Deadline  
April 16, 2021
  
- Application Documents (non-returnable)  
All documents 1. and 2.1. to 2.4. listed below must arrive by Friday April 16, 2021: Submitting in person is not acceptable.
  1. Prescribed Letter of Recommendation (downloadable from the website shown below)
  2. Supplementary documents (either in Japanese or English)  
Documents 2.1. to 2.3. must be submitted as A4 sized-paper copies and 2.4. in an electronic medium:
    - 2.1. Copy of the dissertation (either in sheets or bound)
    - 2.2. Outline of the dissertation (one page; single-sided printing)
    - 2.3. Summary of the outline (120-word summary of the outline of the dissertation mentioned above)
  - 2.4. Recording medium such as a CD-ROM or USB flash drive containing PDF data of 2.1. to 2.3. shown above. Each document must be saved as an individual PDF file under the applicant’s surname, e.g. “SMITH dissertation.pdf”.

\* If your dissertation has been published, submit a copy of the book. It will be returned afterwards.

Note that the application may not be accepted if any of the application documents are missing or incomplete.

- Selection of Prizewinners

The selection committee of the Asia Pacific Research Prize will review the dissertations to select prizewinners.

- Number of Prizewinners and Prize Details

1. Number of prizewinners: Approximately two

2. Details of prize

Main Prize: Prize certificate and a prize of 1,000,000 yen

- Announcement and Notification of the Results

1. The name of the prizewinners will be announced in July 2021 (tentative).

2. The result of the selection will be notified in writing.

3. The outline of the prizewinning dissertations will be published in our annual report of the Awaji Conference.

- Awards Ceremony

To be held on Friday August 6, 2021 at the Awaji Yumebutai International Conference Center.

<Address for Submission of Applications and Contact Details>

Secretariat of the Asia Pacific Forum, Awaji Conference Japan

Address: East Bldg. 6F, 1-5-2, Wakinohamakaigan-dori, Chuo-ku, Kobe, Hyogo, Japan 651-0073

TEL: +81-(0)78-262-5713

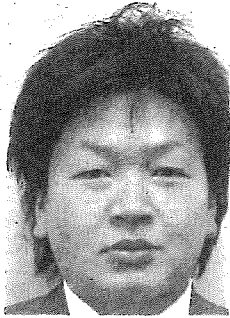
FAX: +81-(0)78-262-5122

Website: <https://www.hemri21.jp/awaji-conf/english/index.html>

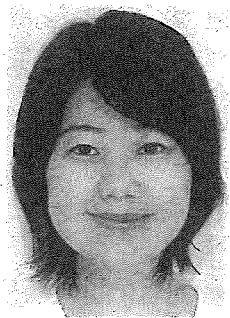
E-mail: [gakujutsu@dri.ne.jp](mailto:gakujutsu@dri.ne.jp)

アジア太平洋地域の多文化共生に向けた政策提言をする「アジア太平洋フォーラム・淡路会議」(井植敏・代表理事)が7月、第19回アジア太平洋研究賞(井植記念賞)の本賞に中央大学政策文化総合研究所客員研究員の海野典子さん(34)と共立女子大学国際学部専任講師の岡部正義さん(36)を選んだ。

## アジア太平洋研究賞に2氏



こうした「一見教義とは矛盾しているが、イスラムの存



海野さんは、中国の少数民族、ムスリム(イスラム教徒)の回族が20世紀初頭の華北地域で周囲のイスラム教に

た例えば、賭博行為として教義で禁じられている宝くじをモスクで販売し、その利益を宗教学校の運営や貧民救済

中央大学政策文化総合研究所客員研究員 海野典子さん

## 中国少数民族の信仰保持策に迫る

続を目指すという点では一貫している「行為が、中国のムスリム社会の存続と非ムスリムとの関係構築に寄与したと結論づけた。

選考では、漢語や欧文、テュルク語など多言語の文献を幅広く実証的に利用し、問題に独創的にアプローチした点が、国際的にも極めてレベルが高いと評価された。

岡部さんはフィリピンの農村地域に3年間滞在し、教育問題について研究。大量の各種統計資料の分析と、子供や親、教師らへのインタビュー調査を通して、解決へ向けた政策提言をした。

また、母親が就労している場合に、娘たちは働く女性というロールモデル(手本)を母親に見いだし、学習時間を増やす可能性があると論じた。そのうえで、農村では父親が低所得のため、母親が子供の養育と就労による生計維持という「二重の責務」を負

わされていると指摘した。

さらに、「男子は怠惰、女子は勤勉」という類型化されたイメージ(ステレオタイプ)の影響で、女性教員の多いフィリピンの学校で男子が女子よりも厳しく成績をつけられているという実態を解明し、そのことが男子の教育不振を増幅している可能性を示唆。問題解決には、貧困の改善とステレオタイプの緩和を両輪とした政策が必要と示した。

選考では、周到な現地調査や詳細な統計分析、的確な政策提言が高い評価を得た。

この賞は、朝日新聞社が後援している。(池田洋一郎)

共立女子大学国際学部専任講師 岡部正義さん

## フィリピンの教育問題に政策提言